奈良県農村振興優良組織表彰団体（R4～R7）

令和４年度

令和５年２月４日（土）／「農村振興シンポジウム」 内表彰式／奈良県コンベンションセンター

田原ふる里環境保全向上活動協議会（奈良市）

奈良市田原（たわら）地域の19集落がひとつの組織として活動。活動当初から広域化に取り組み、「中山間直接支払制度」においても、集落機能強化加算に取り組み、組織の強化に向けた活動を行っています。

多集落を守り美しい村づくり隊（田原本町）

田植えや稲刈り体験など、都市農村交流活動を積極的に行い、婦人部による伝統料理の継承や、6次産業化を目指して地元で収穫した米や小麦を使用した加工品の販売も行っています。

桐山地域環境保全連合会（宇陀市）

遊休農地の解消に向け、そばを栽培し、美しい田園風景の景観形成を行うとともに、収穫したそばは、地域行事においてそば打ちし、住民に振る舞うなど、農村環境の向上に向けた取組を積極的に行っています。

令和５年度

令和６年２月１４日（水）／「農村振興シンポジウム」 内表彰式／橿原文化会館

阪原町環境保全向上活動組織（奈良市）

営農組合を中心に集落一丸となり、年９回の基礎活動や都市との交流を図るため、毎年１０月に「コスモス祭」の開催や営農組合女子部による加工品開発にも取り組んでいます。

山陰保全管理会（五條市）

農地中間管理機構を活用し、９５％の農地を担い手へ集積。農村環境保全のため、農道周辺への植栽や集落内の世代間交流を図るため「収穫祭」などの様々な行事を実施しています。

南檜垣町農村環境保全活動組織（天理市）

法人化された営農組合が参画し、都市との交流を図るため毎週土曜日に「朝市」を開催するとともに年末には、しめ縄づくり体験を実施しています。

令和６年度

令和７年２月１５日（土）／「農村振興シンポジウム」 内表彰式／なら１００年会館

針ケ別所の穂田留を守る会（奈良市）

耕作放棄の解消を図る集積と農地の保全、地域住民全員で活動する組織として一般社団法人針ヶ別所未来開発を設立し、後継者が不在の農地管理や女性が主役の加工品開発などにより、地域住民の共助意識の向上と地域発展を図っています。

十市町地域保全向上活動組織（橿原市）

農村の地域文化、伝統の次世代へ継承するだんじり祭りを通じて新住民と町内企業の参加から、地域の活性化を図り、農業体験を通じた食育の実践など活力ある地域づくりに向けて積極的に取り組んでいます。

ＫＳＫ（葛城市）

七集落による協議会活動「カツラギセブン」として、毎月の会合で、集落の共通課題の解決に向けた取り組みを検討。農地の景観保全にひまわり畑、各集落を巡る葛城山麓ウォーク、遊休農地を活用した古代小麦の生産・加工品開発、バイオ炭を農地に戻し資源循環を図る取り組みを進めています。

令和７年度

令和８年２月７日（土）／「農村振興シンポジウム」 内表彰式／大和高田さざんかホール

海知町環境保全活動組織（天理市）

天理市南西部に位置する海知町は、水稲栽培に加え施設園芸を行う地域です。現在、非農家が農家より多く、両者は、交流を深めながら協力しあって、共同活動（水路・道路の清掃）に取り組んでいます。農家と自治会は子ども会とも協力し、水路沿いの記念碑周辺の整備や植樹を行っています。また、遊休農地の解消と有効活用を目指し、夏にはマリーゴールド、冬には葉牡丹の植栽活動を行い、「水と緑に囲まれた住みよい町づくり」を目指しています。

大谷地域資源保全会（五條市）

五條市中央部に位置する三在町は大谷川の水を利用して水稲栽培が盛んな地域です。地域住民の交流を促進するため、植栽活動やホタルの放流会を実施し、特に子どもたちとの交流を大切にしています。活動の周知には具体的な内容や連絡先を明示し、参加しやすい環境を整えています。活動を通じて、困ったときに地域で助け合う意識を育てることにも繋がっています。また、老朽化した農道の修繕や鳥獣害防護柵の管理も行っています。